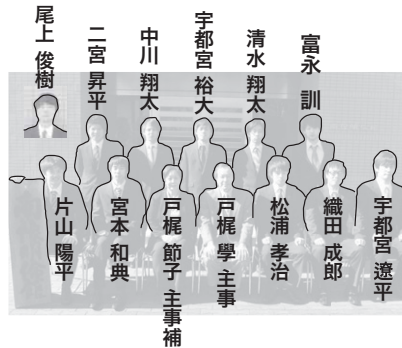




平成25年3月、南豫明倫館の11人が4年間の節目を迎え旅立った。進路は人それぞれ、思いもそれぞれだろう。だが、人生は一回限り。悔いのない人生を歩んでほしい。卒業生の心意気やいかに。2月17日には壮行会を開き、南豫奨学会理事や後輩たちがこぞって、先輩の門出を祝った。



11人、期待にこたえ飛躍を!! 25年3月 企業や大学院に旅立ち

卒業生の言葉

二宮 昇平 (東京理科大学・理学部、八幡浜)

伊予銀行

1 一日でも早く一人前の銀行員になりたいです。そのためにも、初心を忘れず、常に向上心を持って仕事に取り組みます。

2 四年間の大学生活はとても貴重な時間です。やりたいことがあるなら、今すぐ行動しましょう。一人で無理なら寮で仲間を募れば良いのです。後悔のない大学生活を。

宮本 和典 (東京農工大学・工学部、西予市)

東京農工大学大学院 工学府

1 私は大学院に進学して、引き続き移動ロボットの研究に取り組むことになっています。将来は今の研究で得たものを活かせる職に就きたいと考えています。

2 大学生活の四年間はすぐに終わってしまいます。やるべきことはしなければいけません。自分がやりたいことにも手を伸ばしてみましよう。存分に欲張ってください。

中川 翔太 (東海大学・工学部、宇和島市)

株式会社マイナビ

1 しっかりと生きる。

2 何事にもチャレンジをして下さい!!

織田 成郎 (東洋大学・経済学部、宇和島市)

愛媛県警

1 まだスタートラインに立ったばかりなので、まずは一人前の警察官になれるように頑張ります。将来は南豫明倫館の四年間の経験を生かし警察官として社会や南豫明倫館に還元出来る人間になりたいです。

2 学生だからこそ、南豫明倫館だからこそ、東京だからこそ、出来ることたくさんあります。今しか出来ないことを存分に楽しんで充実した学生生活を送ってください。

片山 陽平 (工学院大学・エンジニアリング学部、宇和島市)

YKK AP株式会社

1 海外を舞台に日本の優れた技術力を現地の人に指導できる人材になります。その土地で暮らす人々の幸福に責任を持つプロになり、より快

2 適な住空間を創造したいです。

2 深夜の屋上で花火をするのはやめたほうがいいです(笑)。

富永 訓 (東京経済大学・経営学部、宇和島市)

伊予銀行

1 立派な社会人になれるように日々精進する。

尾上 俊樹 (東京大学・工学部、宇和島市)

東京大学大学院

1 自分は大学院に進学するため、また南豫明倫館のお世話になりますが、院を卒業後は早く技術者として一人前となり、地元や明倫館への恩を返したいと思えます。

2 寮での飲酒禁止など多くの迷惑をかけてしまいました。今後は自分達から、寮生全体での新たな楽しみをつくり出して下さい。

松浦 孝治 (法政大学・法学部、宇和島市)

未定

1 公務員試験の勉強のため、もう暫く寮にお世話になることになりました。南豫明倫館に早く恩返しできるようにがんばります。

2 アンテナを幅広く張れば、時間のある大学生活が有意義なものになると思います。

宇都宮 遼平 (明治大学・法学部、鬼北町)

早稲田大学大学院 法学研究科

1 将来は博士後期課程まで進み、民事手続法の研究者(大学教授)になり、わが国の民事訴訟手続きを中心とした紛争解決手続きを、研究者の立場からよりよくしていきたいです。

2 自分に劣等感を与えてくれる友達を、大事にしてください。そしてその友達と、切磋琢磨していきましょう。今年も南豫明倫館に残ることになりましたので、宜しくお願ひします。

清水 翔太 (東京大学・工学部)

東京大学大学院 情報理工学系研究科

1 今後は、膨大な情報システムや、情報そのものを効率よくマネジメントする技術を研究するだけでなく、情報技術の激しい変化に柔軟に対応できるような能力も身につけていきたい。

2 生き残るのが厳しい時代だからこそ、自分を守る必要があります。それは他の人も同じです。従って、他人の価値観に対して寛大であってほしいと思います。また、私もそうありたいと思います。

宇都宮 裕大 (日本大学・経済学部、八幡浜市)

留年

全体感を持った人間に

自治委員長 山本 祐大
明治大学法学部

今期、自治委員長を務めさせていただく山本祐大です。歴史と伝統のある南豫明倫館の委員長となり、責任感と使命感と誇りを持って日々奮闘しています。

私は委員長として寮生全員を日本に必要な真金の如く屈強な「人財」にしようと思っています。私の考えるところの社会に必要な「人財」とは、視野が広く、全体感と思いやりを持った人間です。一人暮らしではなく、寮生活という共同生活である以上、どうしても他人に気を使わなければならない場面も日常の中に多々あります。殊に一年生は上級生に気を遣い、何かと苦労することも頻繁にあるかもしれません。何故、こんなことをせねばならないのか。そう思う日も間違いなく来るでしょう。

そんな時に思い出して欲しいのは何故愛媛から東京に出てきたのかということ。それはひとえに「成長」したいからではないでしょうか。上京した理由は皆違いますが。花の都・大東京で勝負したい、変わりたい、昔から憧れていた……。多岐に渡るでしょう。しかし、「成長」したいというベクトルは共通していると思います。そして明倫館はそのための最適なフィールドです。一・二年時には下っ端根性が鍛えられ、他者に貢献できる自分になります。三・四年時には組織の運営を通じて、人の上に立つ難しさや楽しさを知ることが出来ます。そして一度も二度も剥けた人間になります。寮生の多数は部活動やサークル活動に従事しています。皆が活動を始めたきっかけは元々好きだった、興味があったからでしょう。一方、寮の活動にはあまり楽しめないものもあるかもしれません。気が乗らないこともあるでしょう。しかし、社会に出ていくうえで大切なことは嫌なことを好きになることではないでしょうか。社会に出ると山ほど困難が襲ってきます。その困難を乗り越えるためには、嫌なことを好きになる力が必要です。その力を明倫館では養えます。全体の中での自分の役割を知れます。何よりも誰かのために頑張ることの素晴らしさが分かります。こんなに成長できる環境は他にはないでしょう。

明倫館の教えが正しいことは諸先輩方が社会で実証してくれています。その伝統を継承する義務が我々寮生にはあります。小さなことからコツコツと。まずは、人間としての基本であるあいさつから厳しさと愛を持って指導していきます。これにて終わります。御精読ありがとうございます。

平成25年度 上期自治委員会

委員長	山本 祐大
副委員長	河野 寛
"	谷 貴人
整備(東)	坂本 裕
" (西)	宇都宮 和彦
風紀	宇都宮 賢吾
広報	田中 悠悟
企画	渡邊 圭
情報	堀尾 祥汰
サロン	竹葉 大貴
会計	山本 晃弘

